

第1章 本調査研究の目的と基本構想

1) 調査研究の目的

働き方改革などの取り組みに伴い、在宅勤務を含む「テレワーク」を導入する企業は、2019年度時点でも増加傾向にあった。それが、新型コロナウイルス感染拡大をきっかけに、テレワークを導入する企業は一気に増加した。おそらく、新型コロナウイルス感染収束後もテレワークは、働き方のスタイルとして、一定程度定着するのではないだろうか。企業の立場としては、テレワークを導入することでパフォーマンスが向上することを期待する。一方で働く側の立場としては、日々の仕事にやりがいを感じ、ワーク・ライフ・バランスを充実させ満足感を得ることも重要となる。

そこで、本調査研究では「仕事の成果や生産性」「満足度やモチベーションの向上」につながるテレワークのありかたを探ることを調査研究目的として設定した。